

# ニホンザルの効果的被害対策 と群れの管理について

～被害管理、個体数管理、集落づくりまで～

三重県農業研究所  
山端直人

## 最初に

自己紹介。

山端 直人 三重県農業研究所 研究員

担当:「獣害対策」

野生動物の被害管理

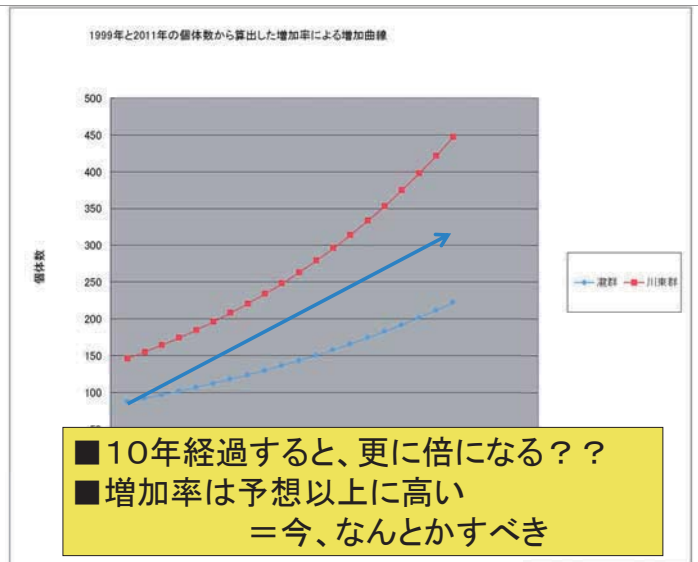
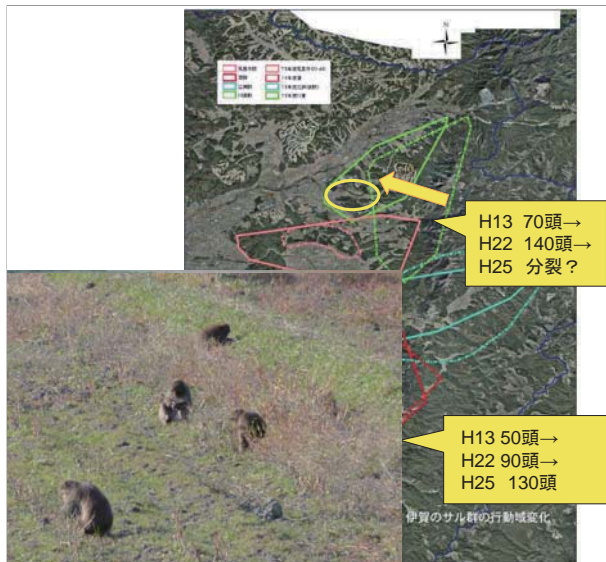
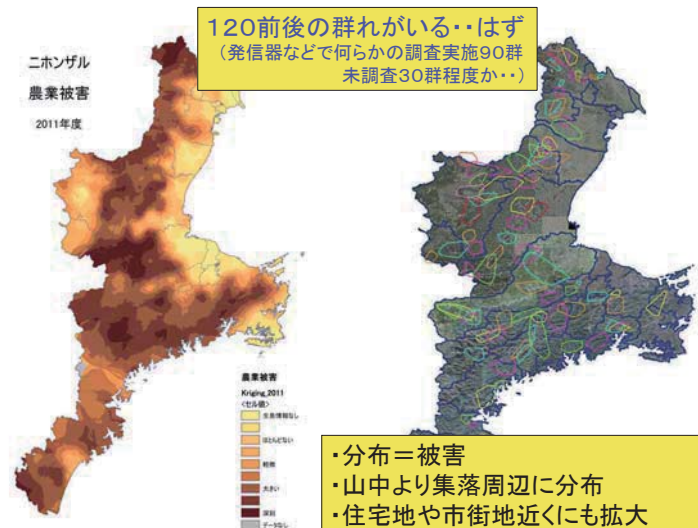
ヒューマンディメンジョン

獣害につよい集落の育成

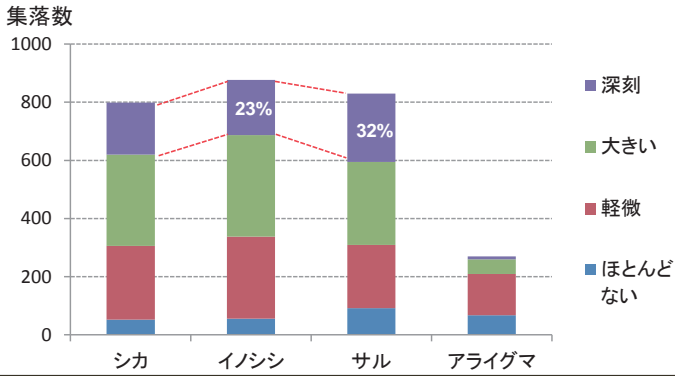
～社会調査から捕獲まで～

## 今回紹介させていただく内容

- ①サルの生態と三重県のサル被害の状況
- ②サル被害の原因
- ③効果が出ている被害対策技術の実例  
～正しく対策すれば、成果は出る実例～
- ④被害対策してからどうする？  
～被害対策の延長に個体数の管理を考える～
- ⑤獣害につよい集落を作るために  
～集落へのアプローチ～



## 被害が発生している集落数



サルの「負担感」は相対的に大きい＝諦め感の表れか？

※H23三重県獣害アンケート

## 1 (被害対策に役立つ)サルの生態



「エサ場」 ⇒ 加害獣に好まれる場所

- 1 採食可能な場所
  - 2 安全な場所
- 双方の条件を満たすと獣害は発生する

獣害対策の中の「被害管理」とは、この2つの条件を満たさない場所にしていくこと

それと同時に、「生息地管理」と「個体数管理」を実施していく

## ①人が被害と思わない「エサ」がある



## ②「正しく」囲えていない



## ③隠れ場がある





## ④正しく追い払えていない



## ステップ2 アンケート調査

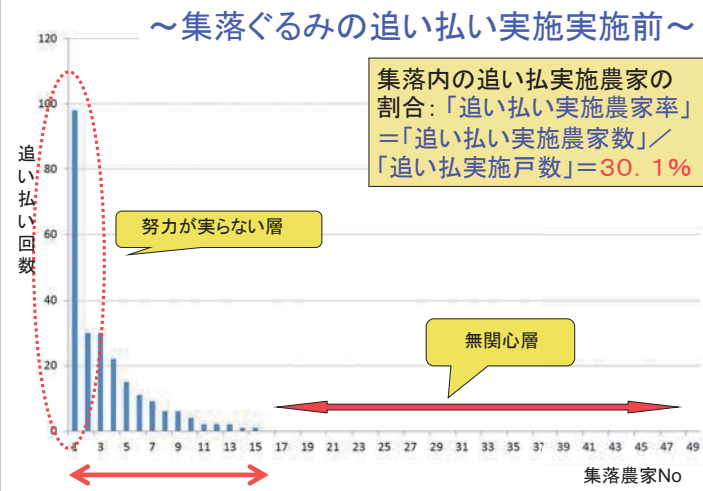
意識や行動量のアンケート

調査により、

- ①集落の被害状況の把握
- ②被害対策の取り組み状況の整理・分析
- ③被害マップの作成

被害量を特定する、地図アンケート

## 集落内の「追い払い実施農家率」 2011 山端



## 獣害対策の5箇条

- 1 集落内の収穫残さや不要果樹など「エサ場」をなくす
  - 2 耕作放棄地や藪などの隠れ場所をなくす
  - 3 囲える畑はネットや柵のできる限り囲う
  - 4 人里は怖いと覚えさせるため、獣を見たら必ず追い払う
  - 5 3、4が可能なレベルに群れの頭数をコントロールする
- ↓
- 集落のエサ場価値を下げる
- 3、4が可能なレベルに群れの頭数をコントロールする

## 効果的に追い払う

### ■効果のある追い払いについて

組織的な追い払いによる  
サルの被害軽減

～伊賀市下阿波集落～

## 追い払いの研修会

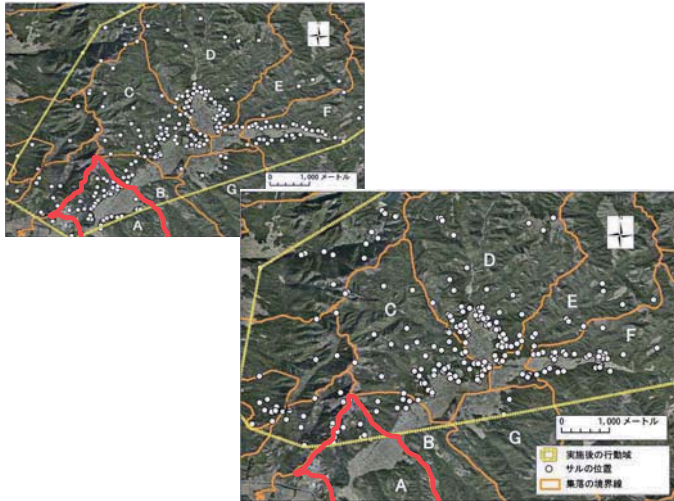


## 効果が出た追い払いの行動様式

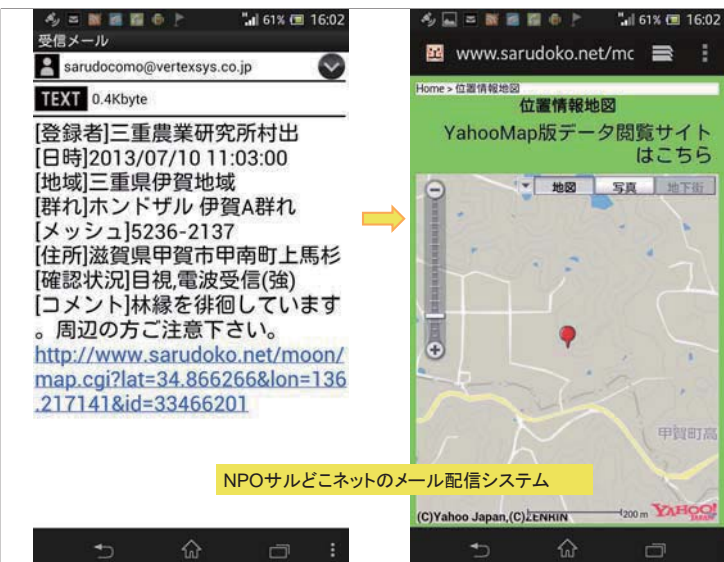
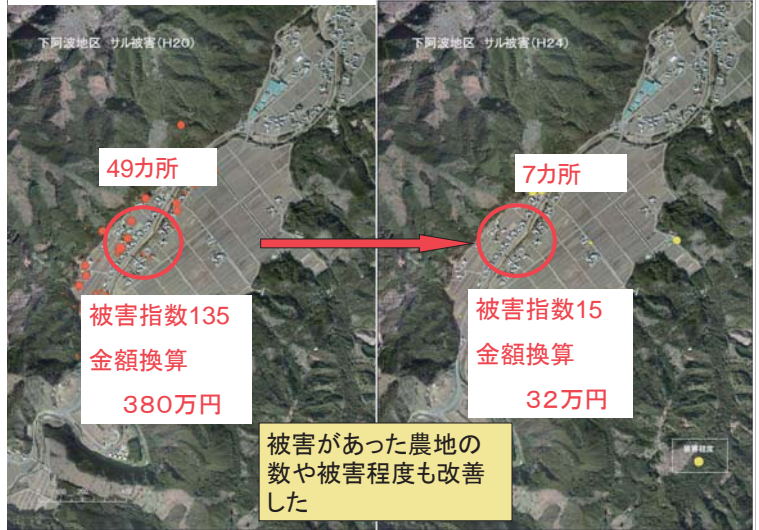


## 集落内の「追い払い実施農家率」の変化

～集落ぐるみの追い払い実施後～

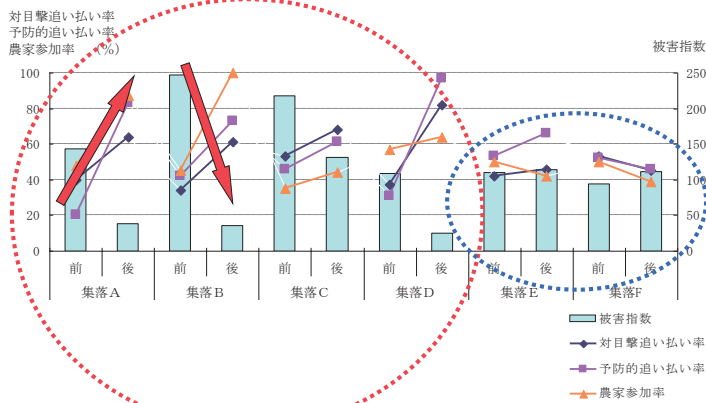


## S地区のH19年とH23の被害の比較





## 集落ぐるみの追い払い実施集落の被害軽減効果 (2009山端)



## 「組織的な追い払い」の考え方

集落を1つの農地と意識し

- 1.サルを見たときは必ず
2. 集落の誰もが **追い払う！！**
3. サルが侵入した場所に集まって、複数で
4. サルが集落から出るまで(時には山の中まで)
5. 花火、パチンコ等、サルに向かって飛ぶ威嚇資材を複数使って

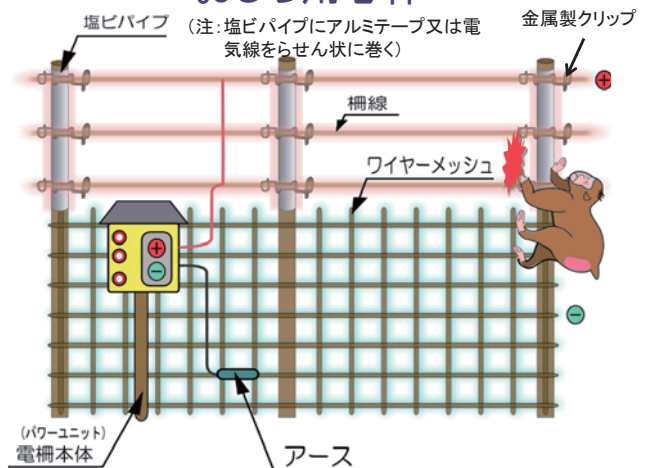
## 正しく囲う

### ■効果のある多獣種防護柵

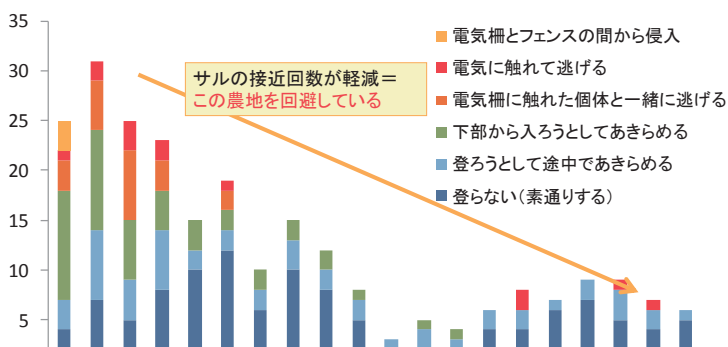
おじろ用心棒型集落柵  
による被害軽減

～伊賀市子延集落～

## サルにも効果のある電気柵 ～おじろ用心棒～



## おじろ用心棒を設置した菜園でのサルの接近状況



おじろ用心棒を設置している菜園へのサルの接近回数が減少  
侵入行動の割合が減り、素通りする比率が増加  
→エサ場と認識しなくなってきた

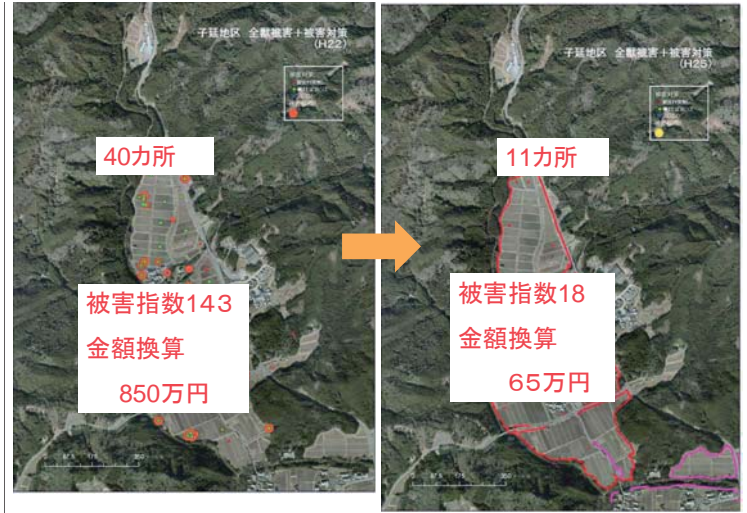


伊賀市子延地区

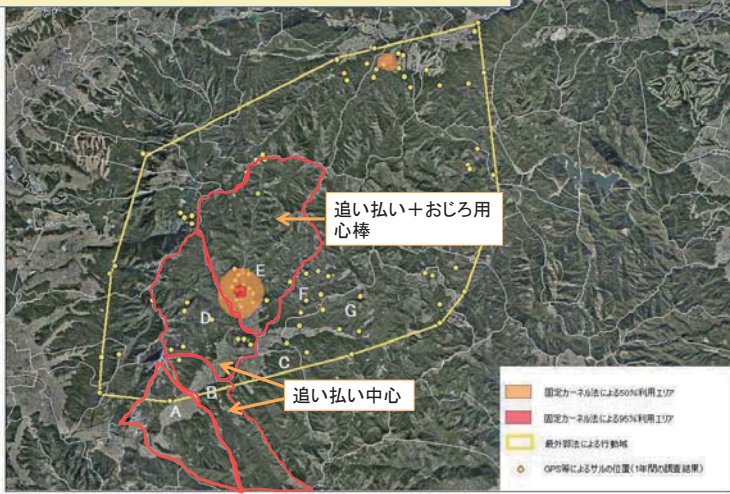


伊賀市子延地区

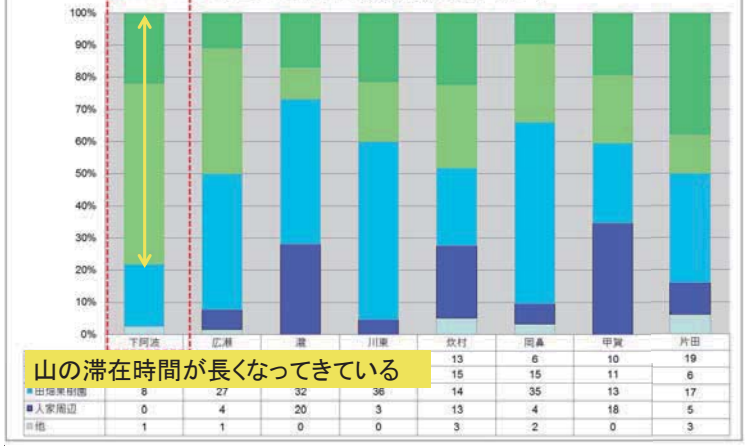
N地区のH20年とH24の被害の比較（集落柵と追い払いの効果）



同一群内の複数集落に取り組みが広がると...

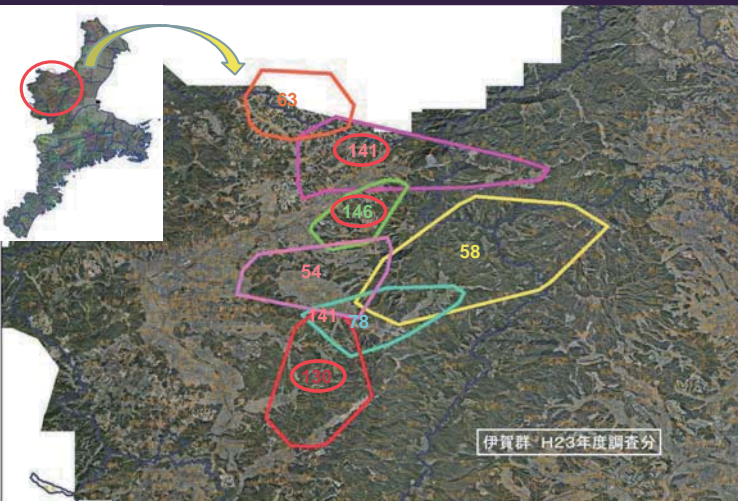


ニホンザル群れの出没環境（2012年4月～）

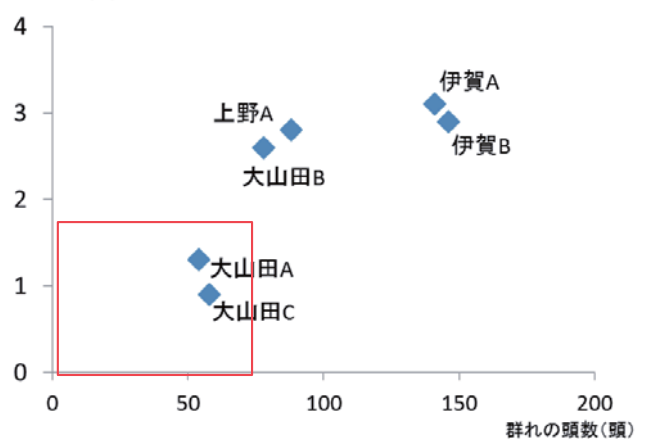


被害管理の拡大で、集落への依存を軽減できる（棲み分けできる）

追払い等が困難な程の多头群が存在する



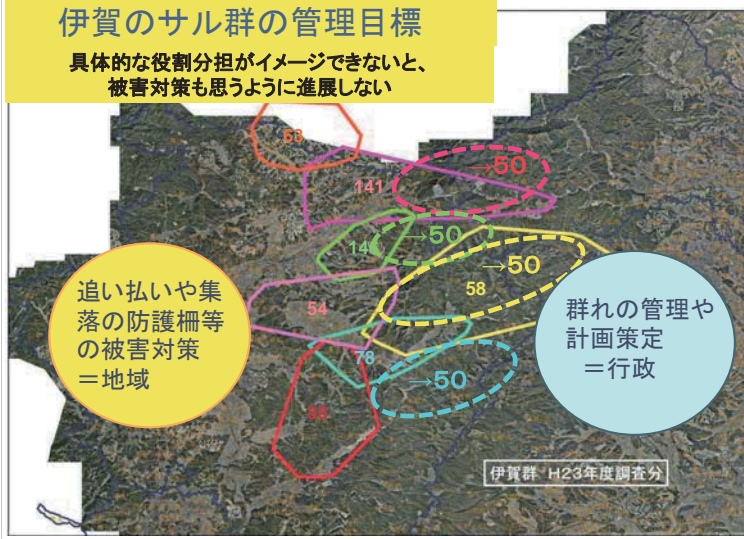
所要時間(hr)





## 伊賀のサル群の管理目標

具体的な役割分担がイメージできないと、被害対策も思うように進展しない

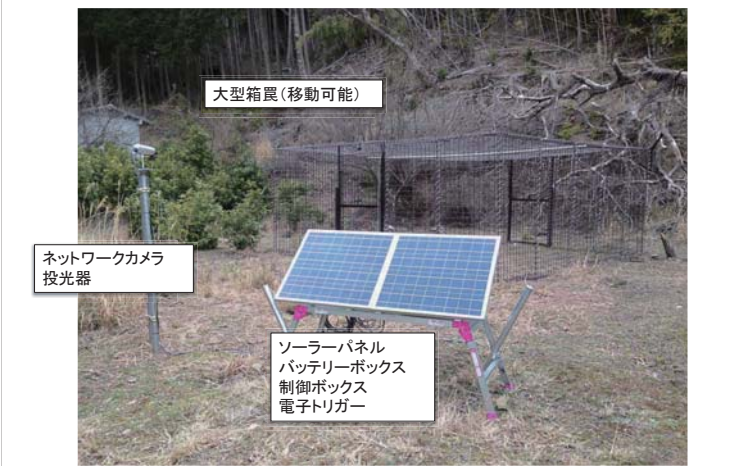


## 三重県伊賀市の群れ管理の考え方

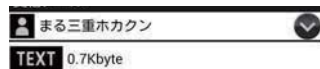
群れ名	頭数	群れを返せる山地の有無	加害レベル	管理の考え方
大山田A	58	有	3	被害管理のみ
大山田B	78	有	4	個体数調整と被害管理
大山田C	54	無	4	被害管理しつつ群れの除去
伊賀A	141	有	4	個体数調整と被害管理
伊賀B	146	有	4	個体数調整と被害管理
伊賀C	63	無	4	個体数調整と被害管理
上野A	88	有	4	個体数調整と被害管理

※加害レベルは三重県の特定計画より  
(5段階、レベル5は人家侵入や人身被害有り)

## 移動可能な大型箱罠＋遠隔監視・操作機器 (まる三重ホカクン)



## 動物が侵入したらメールで通報する機能も



侵入センサーに反応がありました。動物が困いわな付近にいる可能性があります。

接続可能なWebブラウザ※で下記URLに接続し、状況を確認してください。  
(次に侵入センサーが作動するのは10分後です。)

接続用URL <http://ict0005.c-hokakun.com:8081/>

接続用URL

※接続可能なWebブラウザは、「Mozilla Firefox」、「Opera」、「Safari」です。

